

地方創生SDGs金融を通じた 自律的好循環形成に向けて

地方創生SDGs金融調査・研究会



第9回地方創生SDGs金融調査・研究会 有識者会議

2021年11月16日

本日の内容

第7回

日時	アジェンダ
9月24日 13:00 – 15:00	<ol style="list-style-type: none"> ① 地方創生SDGs金融のこれまでの取組と現状 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 地方創生SDGsの全体像と調査研究会の取組経緯 ▪ 地方創生SDGs金融のこれまでの取組と現状 ② 本年度の調査研究会のテーマと進め方 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 本年度の調査研究会における検討事項 ▪ 地方創生SDGs金融／本年度の各回のアジェンダ

第8回

11月1日 10:00 – 12:00	<ol style="list-style-type: none"> ① 第7回調査・研究会における議論の振り返り ② 地方創生SDGs金融表彰実施にむけた実態調査 結果 ③ 地方創生SDGs金融表彰制度（案） ④ 地方創生SDGs金融表彰制度 イベント実施 ⑤ 今後のスケジュール確認
------------------------	--

第9回

11月16日 10:00 – 11:00	<ol style="list-style-type: none"> ① 地方創生SDGs金融表彰制度 要綱・要領・概要 ② 地方創生SDGs金融表彰制度 選考方法・スケジュール ③ 次年度に向けた検討の方向性
-------------------------	--

- 1. 地方創生SDGs金融表彰制度 要綱・要領・概要**
- 2. 地方創生SDGs金融表彰制度 選考方法・スケジュール**
- 3. 次年度に向けた検討の方向性**

- 地方創生SDGs金融表彰制度の概要を下記に示す。

地方創生SDGs金融表彰制度概要

目的	地方公共団体等と地域金融機関等が連携した、SDGsを原動力とした地方創生に取り組む地域事業者を支援するスキームの構築において、特に顕著な功績がみられた地方公共団体等及び地域金融機関等を表彰し、地域における資金の還流と再投資を生み出す「地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環の形成」に資する取組を普及推進することを目的とする。
表彰の対象	地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環の形成に資する取組について、特に顕著な功績がみられた地方公共団体等及び地域金融機関等とする。
表彰者	内閣府特命担当大臣（地方創生）が行う。
表彰の時期	年1回行う。
表彰数	最大5件程度とする。（応募件数による）
選考委員会	選考委員会の委員は、地方創生推進室長が委嘱する者による。
評価項目	以下の評価項目ごとに評価し、総合的に、特に顕著な功績があったと認められる取組を表彰する。 汎用性（モデル性）、官民協働、実効性、持続性、透明性、独自性、成果、影響 ➡詳細は次頁

- 以下の評価項目ごとに評価し、総合的に、特に顕著な功績があったと認められる取組を表彰したい。
- 必須項目は記載を必須（形式要件）とする。

評価項目の詳細

項目名	概要	必須/加点
汎用性 (モデル性)	事例・スキーム等が具体的に明記され、他の地方公共団体等および地域金融機関等で参考事例となり、横展開が可能であるか。	必須
官民協働	地方公共団体等および地域金融機関等との連携体制が構築され、達成すべき目標や具体的な取組方針等が共有され、協働しているか。	必須
実効性	実効性の高い支援スキームを構築しているか。	必須
持続性	地方公共団体等の総合計画や地域金融機関等の中期経営計画等に位置付けられ、持続可能な支援スキームかどうか、また地域への継続的な波及効果が見込まれるか。	必須
透明性	取組の状況や成果を対外的に公表しているか。	必須
独自性	独創的な視点・斬新な支援スキームを構築しているか。	加点
成果	取組によって創出された、「成果（アウトプット）」、または目標が設定されているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・支援取組（資金支援）により獲得した、融資件数・融資額。 ・支援取組（非資金支援）により実現した課題解決（内容・件数等）。 	加点
影響	「成果（アウトプット）」によって創出された、地域の経済、社会、環境へ与えた／与える影響・変化（アウトカム）、または目標が設定されているか。	加点

- 応募書面の主な構成・記載内容については以下のとおり。
- PartIIでは前述した評価項目に対する自己評価を記述してもらう。

主な構成と記載内容

Part I 基本情報

(地方公共団体・地域金融機関とも)に代表者を記入)
 応募団体名、住所、担当、担当者名、メール、電話

- ・取組のタイトル (45字)
- ・登録認証等制度かどうか (選択)
- ・支援取組の目的 (200字)
- ・支援取組の概要(1000字)

Part II 支援取組 概要

評価項目 別の自己 評価記載

- ・各評価項目に対するコメント
 - 汎用性 (300字)
 - 官民協働 (300字)
 - 実効性 (300字)
 - 持続性 (300字)
 - 透明性 (300字)
 - 独自性 (300字)
 - 成果 (300字)
 - 影響 (300字)
- ・自由記述

第1回地方創生SDGs金融表彰 応募用紙			
■基本情報①:地方公共団体等(代表)			
属性	地方公共団体等		
(フリガナ) 応募団体名			
住所	〒	都道府県	選択してください
		市区町村	
担当部署課名		担当者名	
Email	XXXX@mail.com	電話番号	
■基本情報②:地域金融機関等(代表)			
属性	地域金融機関等		
(フリガナ) 応募団体名			
住所	〒	都道府県	選択してください
		市区町村	
担当部署課名		担当者名	
Email	XXXX@mail.com	電話番号	

第1回地方創生SDGs金融表彰 応募用紙	
■応募する「地域事業者への支援の取組(以下、支援取組)」の概要	
タイトル (45字以内)	
■「登録認証等制度」に基づく支援取組か※登録認証等制度に基づかない支援取組も応募可	
■支援取組の目的 地域の課題/取り組むべき点・取り組みたい点について、また、その解決への実現に向けた本支援取組の取組(200字以内)	
■支援取組の内容 ※平易な表現で簡潔に記述願います。また、出来年の取組内容はご所属の地方公共団体等/地域金融機関等との間における、連携・支援スキームや支援取組の内容(1000字以内)	
■支援取組の自己評価	
a.汎用性(モデル欄)(300字以内、以下項目も同様)	
b.官民協働	
c.実効性	
d.持続性	
e.透明性 ※記載頂いたURLは、地方創生SDGs金融の取組事例として内閣府HPに公開させていただきます。	
f.独自性	
g.支援の成果/期待する成果(成果がまだ出ていない場合)	
h.影響/期待する影響(影響がまだ出ていない場合)	
■その他(※自由記述、400字以内)	

- 本表彰制度は、応募時点で成果がなくても、「支援スキームの構築」ができていれば表彰対象とする。
- 応募者に対しては「支援スキームの構築」後の「成果（アウトプット）」、「影響（アウトカム）」を創出する意志やロジックを記入頂きたく、FAQや記入要領でもその旨を伝えていく。下表は例示。

第1回地方創生SDGs金融表彰 応募用紙	
■応募する「地域事業者への支援の取組(以下、支援取組)」の概要	
タイトル (45字以内)	
■「登録認証等制度」に基づく支援取組が※受取器等制度に基づかない支援取組も応募可	
■支援取組の目的 地域の目指す姿・在りたい姿について、また、その将来像の実現に向けた本支援取組の位置づけ(200字以内)	
■支援取組の内容 ※平易な表現で簡潔に記述願います。また、四角等の取り付けはご遠慮、地方公共団体等/地域金融機関等との間における、連携・支援スキームや支援取組の内容(1000字以内)	
■支援取組の自己評価	
※汎用性(モデル性)(300字以内、以下項目も同様)	
1.官民連携	
2.乗換性	
3.持続性	
4.透明性 ※記載頂いたURLは、地方創生SDGs金融の取組事例として内閣府HPに公開させていただきます。	
5.独自性	
6.支援の成果/期待する成果(成果がまだ出ていない場合)	
7.影響/期待する影響(影響がまだ出ていない場合)	

評価項目

支援取組の
目的

支援取組の
概要

支援の成果
(もしくは、今後、
期待されるアウト
プット)

影響
(もしくは、今後、
期待されるアウト
カム)

記入例

自治体Aは大手の下請けとなる中小企業を数多く抱える。かかる企業の脱炭素化を推進することで、地域としての産業競争力の維持を企図している。

自治体Aが構築した登録認証制度と連携し、金融機関Aが自社金融商品における融資先の環境取組の評価に活用する仕組みを構築。

金融機関Aは2023年までに、当該地域でXX件程度の融資契約を目指す。
自治体Aは、そのうちYY件が登録認証制度に新規で認証取得することを目指す。

自治体Aは同様の取組みを、他の金融機関への横展開することを目指す。
金融機関Aは地域の脱炭素に資する融資総額ZZ円、Co2にしてXXトンの削減に貢献することを目指す。

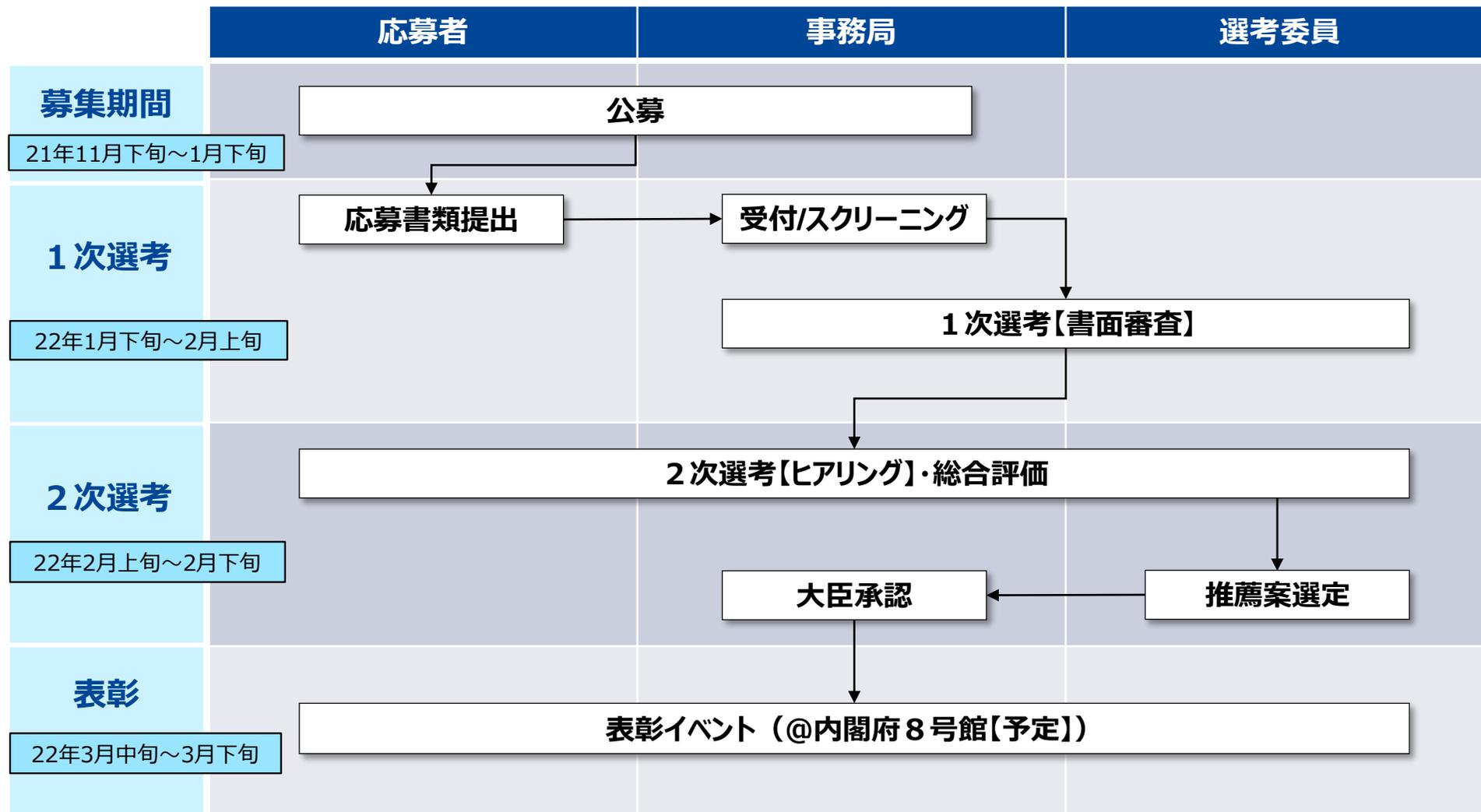
1. 地方創生SDGs金融表彰制度 要綱・要領・概要

2. 地方創生SDGs金融表彰制度 選考方法・スケジュール

3. 次年度に向けた検討の方向性

➤ 選考プロセス（案）は以下の通り。募集～選考～表彰実施で約3か月程度を想定している。

地方創生SDGs金融表彰制度 選考プロセス（案）

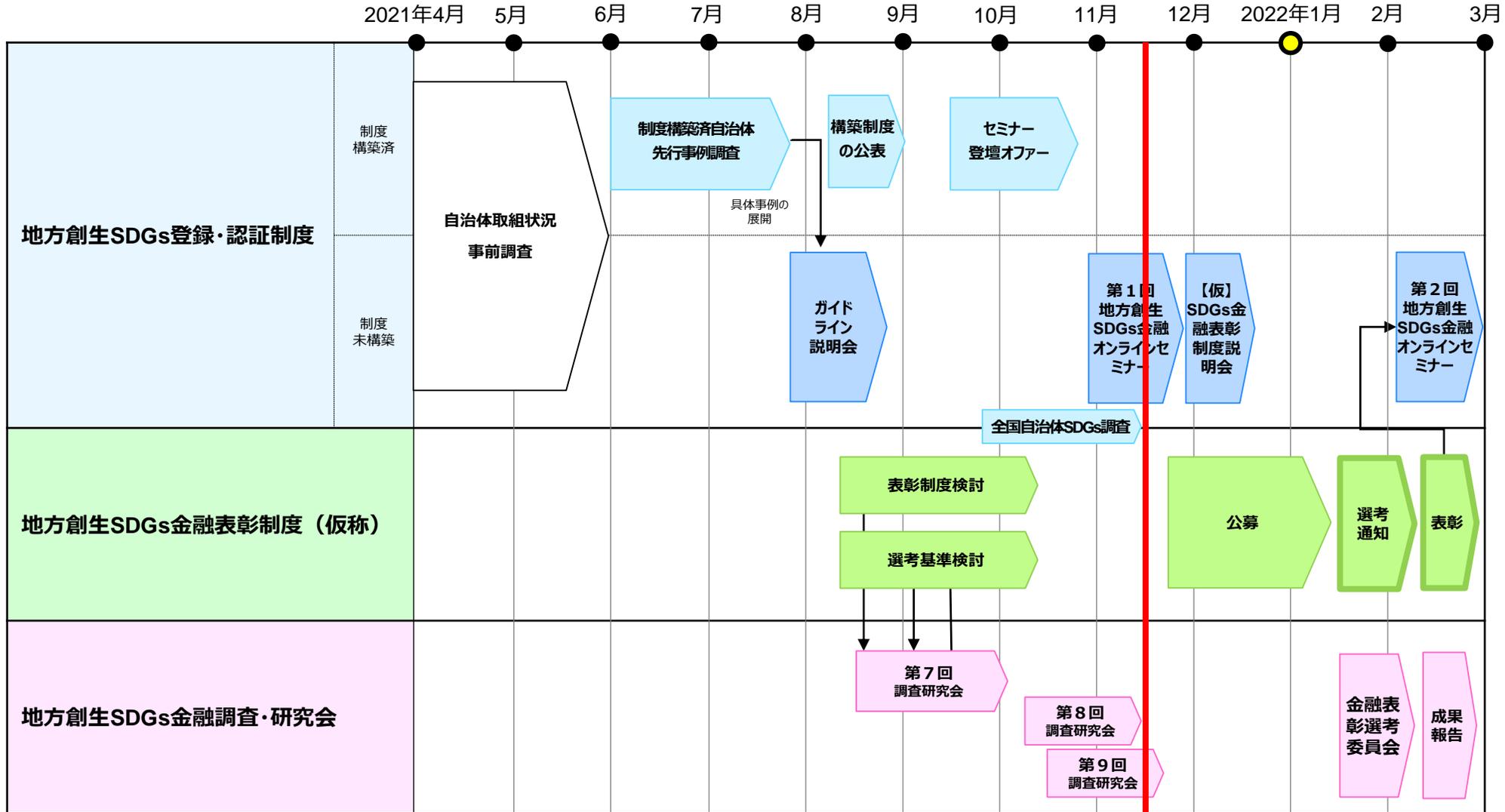


- 今年度の表彰は年度末（2022年3月）に実施を予定する。

表彰式概要（案）

◆ 表彰式

- (1) 主催：内閣府
- (2) 日時：令和4年3月中旬～下旬
- (3) 場所：内閣府 8号館講堂（予定）
- (4) 参加者：
内閣府特命担当大臣（地方創生）、内閣府地方創生推進事務局
表彰対象者、選考委員
- (5) 表彰式次第：
 - ✓ 内閣府特命担当大臣（地方創生）表彰授与、記念撮影
 - ✓ 内閣府地方創生推進事務局よりご挨拶
 - ✓ 選考委員からのコメント
 - ✓ 受賞者代表挨拶・プレゼンテーション
 - ✓ パネルディスカッション
- (6) 取材対応： 有



1. 地方創生SDGs金融表彰制度 要綱・要領・概要
2. 地方創生SDGs金融表彰制度 選考方法・スケジュール
3. 次年度に向けた検討の方向性

2018年度

第1回

~第3回

改組

地方創生SDGs・ESG金融調査・研究会

地方創生に向けたSDGs金融の推進のための基本的な考え方を策定

- 地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環
- 上記の実現に向けた3フェーズ
 1. 地域事業者のSDGs達成に向けた取組の見える化
 2. SDGsを通じた地域金融機関と地域事業者の連携促進
 3. SDGsを通じた地域金融機関と機関投資家・大手銀行・証券会社等の連携促進



自律的好循環のフレームワークを提示

2019~
2020年度

第1回

~第6回

地方創生SDGs金融調査・研究会

地域事業者のSDGs達成に向けた取組の見える化を起点とした、地域事業者・地方公共団体・地域金融機関の連携促進を検討

- フェーズ1：地方創生SDGs登録・認証等制度ガイドラインの公表
- 地方創生SDGs金融表彰制度の位置づけや果たすべき役割の定義



自律的好循環の左半分(地域)を検討

2021年度

第7回

~第9回

地方創生SDGs金融調査・研究会

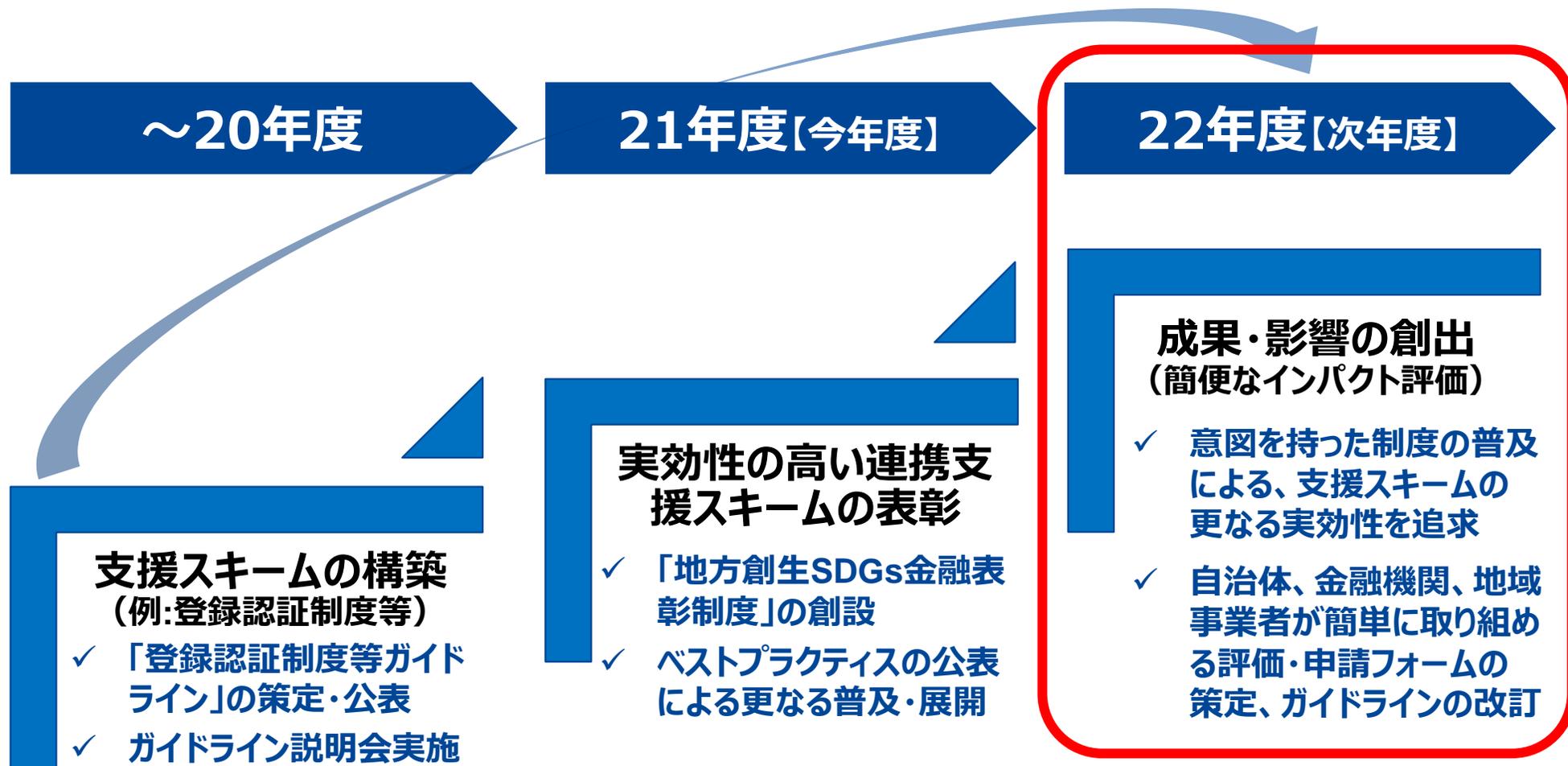
登録認証等制度を構築した自治体と地域金融機関等とが、連携した支援の現状把握を行い、地方創生SDGs金融を促進させるための金融表彰制度を策定する

- フェーズ2~3：地方創生SDGs金融表彰制度(案)の創設
- 登録認証等制度の現状把握,課題抽出,促進のための打ち手検討



*昨年度とスコープは同様に量と質の向上を図る

- ①20年度は、SDGsの達成に向けた取組の見える化のための「登録認証等制度ガイドライン」を策定・公表し、地域ステークホルダーの連携を促進する登録認証等制度の普及促進について検討した。
- ②21年度は実効性の高い制度構築の普及展開を目的に、「SDGs金融表彰制度」を創設した。
- ➔ **22年度は、①②に加えて、更なる実効性の高い制度の普及展開に向け、地方創生SDGsがもたらす幅広い成果・影響（インパクト）事例調査、取組手法・評価手法等についての検討をしたい。**



~20年度

支援スキームの構築 (例:登録認証制度等)

- ✓ 「登録認証制度等ガイドライン」の策定・公表
- ✓ ガイドライン説明会実施

21年度【今年度】

実効性の高い連携支援スキームの表彰

- ✓ 「地方創生SDGs金融表彰制度」の創設
- ✓ ベストプラクティスの公表による更なる普及・展開

22年度【次年度】

成果・影響の創出 (簡便なインパクト評価)

- ✓ 意図を持った制度の普及による、支援スキームの更なる実効性を追求
- ✓ 自治体、金融機関、地域事業者が簡単に取り組める評価・申請フォームの策定、ガイドラインの改訂